

赤外線フィルターを 活用する方法

はじめに

コッキン 赤外線フィルターをお買い求めいただき誠にありがとうございます。本製品は可視光 (400-700nm) の大部分をカットし、680-750nm 域で非常に暗い赤色の一部を透過し始めます。(約 720nm で波長の 50% を透過します)
近赤外域では 800nm からは約 92% の透過率に達します。
以下のプロセスは、赤外線撮影用に改造されていない (IR カットフィルターが取り外されていない) デジタルカメラ専用です。

クリエイティブなプロセス

赤外線フィルターを使用することは、多くの段階と可能性を含むクリエイティブなプロセスです。今日、デジタルカメラのほとんどは、赤外線の影響を除去するために IR カットフィルターを内蔵しています。この IR カットフィルターの性質は不明でありメーカーによって異なるため、あらゆる種類のデジタルカメラと互換性のある赤外線フィルターの完全な使用手順を提供することはできません。しかし本製品を使用するために次のようなヒントを提案いたします。

どのレンズを使うのが最適か

現代の写真レンズは、赤外線撮影用に特に最適化されていません。これは一部のレンズで赤外線撮影をした場合に、中央にホットスポット (中央に明るい部分が生じる現象) が発生したり、絞り羽根部分で繰り返し反射が起きゴーストが発生することを意味します。しかしルールはなく、まずは良好または許容可能な赤外線画像を作成するかレンズの能力を確認する必要があります。現代のマルチコーティングのない一部の古いレンズは、赤外線撮影に特に便利です。

また KolarVision のウェブサイト上の「Lens Hotspot Database (レンズ・ホットスポット・データベース)」(英語) など、インターネット上にレンズリストがあります。

撮影設定

- 例えば、緑色の葉を持つ草木のある屋外シーンを選びます。
- デジタル一眼レフを三脚にセットします。
- コッキンフィルターホルダー専用のアダプターリング (別売) をレンズに取り付け、アダプターリングにホルダーを取り付けます。三脚の位置を調整し、ピントを合わせて構図を決めます。

丸型の 007 フィルターをご使用の場合

右図のようにフィルターホルダーの一番内側の溝にセットします。



角型の IR720 フィルターをご使用の場合

EVO フィルターホルダーでの使用をお勧めいたします。フィルターホルダーの一番内側の溝にセットしてください。

付属の黒いリング状のスポンジは Cokin クリエイティブフィルターシリーズの樹脂製フィルターホルダーを使用する場合に、フィルターとの隙間から光が漏れるのを抑えるためにホルダーにセットするものです。(P シリーズでは 72mm、77mm、82mm のレンズには対応していません。) これを使用する場合はまずフィルターをホルダーにセットし、ホルダーの後部からスポンジをはめこみフィルターに密着させ、ホルダーをアダプターリングに取り付けてください。

- ・ 最良の結果を得るには、カメラの最低感度 (例えば ISO100 や 200) を選択し、RAW モードで撮影してください。
- ・ 撮影後に後加工する場合は、白黒モードや特定のホワイトバランスを選択する必要はありません。後加工をしない場合は白黒モードに設定してください。
- ・ デジタルカメラを絞り優先モードに設定し、f8 や f11 などの小さな絞り値を選択します。
- ・ 可能な場合はカメラのミラーアップをして、セルフタイマーを作動させ、露出開始時の振動を避けます。
- ・ ファインダーから光が入らないよう保護して撮影します。(露光時間は数秒~数十秒と長くなるはずです。)撮影後、カメラの液晶モニターで画像を確認してください。
- ・ 画像が暗すぎる場合は露光時間を長くします。明るすぎる場合は露光時間を短くしてください。正しい露出を得るためにはブラケット撮影が必要です。
- ・ 構図を変える場合は、フィルターをつけたままではファインダーで何も見えないのでフィルターを外します。
- ・ 上記の手順を繰り返します。

撮影画像をどうするか

RAW ファイルは、目的の効果を得るために後処理する必要があります。現在、白黒の画像を生成する方法と、マルチカラーの画像 (偽の色) にする方法の、主に 2 つの方法があります。前者が最も簡単な方法です。

Lightroom や Capture One などの RAW 現像ソフトウェアにファイルをインポートした後、1 つのファイルを白黒モードに変換し、露出、コントラスト、シャドウ、ハイライトを補正します。次に、TIFF ファイルまたは別の形式のファイルに書き出して保存します。

その他の編集

RAW ファイルからマルチカラー画像を生成するには、手順は長く、より技術的です。最初にホワイトバランスと露出を補正することにより、色の情報を維持する必要があります。例えば、通常 720nm の赤外線フィルターを使用する場合、色温度を 2000K に設定することが適切です。次の段階は、あなたの創造性と、画像の要素に適用したい色次第です。例えば、白い木と青い空や、黄色の木と灰色の空にすることができます。あるいは空を紫に、草木は他の色にすることもできます。

DNG 変換

各種画像処理ソフトで提供される DNG コンバーター (Digital Negative Converter の略) やルミノシティマスク (輝度マスク) 機能を使うことは有効です。あなたのニーズと美学に合わせて最高の変換手順を見つけるには、赤外線写真の撮り方に関するウェブ上の様々な記事を参考にするとよいでしょう。

【販売元】

株式会社 ケンコー・トキナー
〒164-8616
東京都中野区中野 5-68-10 KT 中野ビル
<https://www.kenko-tokina.co.jp/>



0120-775-818

【携帯/PHS/IP】03-6840-3389 (有料)

受付時間：9:15~17:30

(土曜日・日曜日・祝日・年末年始・夏期休業等を除く)